

第5学年 音楽科学習指導案

指導者 教諭 氏名 上出 奈央

研究主題

「創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く児童の育成」
～情報活用能力・言語能力・課題解決能力を働かせた探究的な学びを通して～

言語分科会

図書館を活用し、すべての学びの基盤となる言葉の力を育成する。【A3 言語力(感性・情緒)】

1 題材名 「オーケストラのひびきに親しもう」

2 題材の目標

①音楽科

音色、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさやおもしろさ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。

②言語力

音色、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさやおもしろさ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、想像したことを、豊かに表現することができる。

3 題材の内容

(1) 題材観

教材「祝典序曲」 ショスタコービチ作曲

本題材では、主な旋律を演奏する楽器や活躍している楽器の音に注目することで、オーケストラの楽器（弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器）のそれぞれの音色の重なり合う響きのよさを感じ取るようにする。

(2) 児童観

1学期に弦楽器について学習した際、音色を聴き分けることはできるようになったが、音色の特徴や違いを自分の言葉で説明したり、よさを伝えようとするのが難しい児童が多く、指導上の課題になっている。また、旋律の特徴を捉えることが苦手で、同じ旋律を判別したり、言葉で説明することも難しい。

(3) 指導観

本題材では、旋律や音色の特徴を捉える活動を行い、児童が視点をもってオーケストラの演奏を聴くことができるようになることをねらう。また、曲のよさを自分の言葉で伝えられるよう、メモをもとに友達と話し合う場を設定し、曲想やその変化、旋律の特徴や楽器の音色などについて共有し、学びが広がるようにした。また、楽曲の場面を区切って、それを視覚化することで、自分が聴き取った場所を全体で共有することができるようにした。

4 題材の指導計画（3時間扱い）

	時	ねらい	学習内容	言語力
1次	1	オーケストラの楽器の音色の特徴を感じ取り、曲想及びその変化と、旋律、反復と変化との関わりについて理解する。	・曲名や作曲者や使われている楽器について知る。 ・ピアノで演奏したファンファーレ、第一主題、第二主題を聴いて、旋律の特徴をつかむ。	

			・オーケストラの演奏を聴いて、前述の旋律を探す。 ・興味をもった楽器の種類や仕組みについて図書室で調べる。	
2次	2	音色、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさやおもしろさを感じ取りながら聴く。	・同じ旋律を聴き比べて、変化について友達と意見を交換・共有する。 ・演奏の様子を視聴し、感じたことをワークシートにまとめる。	【A3】考えを深め、よさを自分の言葉で表現する。
	3	様々な楽器の音色、旋律、反復、変化に興味関心をもち、音楽を味わいながら聴き、紹介分を書く。	・前時の活動をもとに、気に入った所の紹介分を書き、友達と読み合ったり、よいところを伝えあったりする。	前時の学習をもとに、友達と交流しながら新たなよさに気付く。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

①音楽科

音色や旋律、反復、変化を聴き取って、楽曲のよさを感じながら聴く。

②言語能力

音色や旋律、反復、変化について感じたことを自分の言葉で表現する。

(2) 本時の展開 (2 / 3 時間)

	学習内容	言語力
導入	・主な旋律や活躍する楽器について確認する。 ・ファンファーレ、第一主題 (A)、第二主題 (B) を聴いて前時の学習を思い出す。 ・黒板に前時に共有した旋律の特徴を示し、本時の学習内容を確認する。	
	ちがいを見つけて聴こう！	
展開	・ファンファーレ、第一主題 (A)、第二主題 (B) のそれぞれ 2 回目に出てくる旋律と聴き比べて、近くの友達と自分の意見を伝え合う。(3 回行う。) ・班に 1 枚紙を用意し、各自の意見を言ってから貼り、意見を伝えられるようにする。 ・班で一名、代表で班の意見を伝える。	・付箋に自分の気づきを書いて、言葉で表現する。 ・友達の意見を聞いて、新たな気づきに触れ、考えを深める。
まとめ	・付箋紙の意見を黒板に貼ってまとめ、全体で気づきを共有する。 ・全体でビデオを視聴し、感想を書く。 ・次時は、校内放送で「祝典序曲」を流すときの説明文 (CM) を書くことを伝える。	

(3) 本時の評価

①音楽科

音色や旋律、反復、変化を感じ取って、楽曲のよさを感じながらを聴くことができる。

②言語能力

友達と意見を共有し、考えを深め、聴き取ったことや感じたことを自分の言葉で表現することができる。

6 成果と課題

(1) 成果

①音楽科

聴く旋律を絞って比べさせることで、音色や旋律、反復、変化を感じ取って、楽曲のよさを感じながらを聴くことができた。

②言語力

付箋を使用した言語活動を設定したことで、聴き取ったことや感じたことを自分の言葉で表現することができた。

(2) 課題

①音楽科

旋律、反復、変化にはほとんどの児童が触れることができた。音色の変化については具体的な楽器の変化を聴き取ることができるようにするために、演奏を比べる際、具体的な鑑賞の視点があればよかった。

②言語力

変化に気づいて、自分の言葉で表現することはできたが、意見を共有する際に、ICTを活用することで、より多様な意見に触れ、考えを深めることができる。